

事務事業マネージメントシート

作成日 令和2年05月11日

事務事業名	交通安全施設整備事業				担当	市民生活部 市民生活課 交通安全係									
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり				増補版施策名									
施策名	8	交通安全の推進				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業									
関連個別計画						事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ								
法令根拠							<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭和58年度～)								
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1.総務管理費	9.交通安全対策費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度～年度)										
事業概要	交通安全施設(カーブミラー、赤色回転灯、警戒標識等)の設置及び維持管理を実施。カーブミラーの新設は、例年6月に、区長から設置要望書を提出してもらい、現地調査後、優先順位を設け設置する。また、ミラーの清掃等は地域にお願いしている。なお、信号機は警察が設置し、市は要望のみである。施設数はカーブミラー3,103基、赤色回転灯185灯、警戒標識1,772箇所。														

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
31年度実績	ア カーブミラーの新設数	基	14	32	24	16	20
交通安全施設のカーブミラー(新設16基、撤去1基、撤去・新設14基、移設4基、修繕6基)、赤色回転灯(新設0、撤去0、新設2基、移設0、修繕14灯)、啓発用看板(新設26枚)、警戒標識(新設2基、撤去3基、撤去・新設6基、移設0、修繕0)の設置及び維持管理を実施。	イ 赤色回転灯の新設数	灯	0	0	0	0	0
2年度計画 平成31年度と同じ	ウ 啓発用看板の新設数	枚	41	34	29	26	25
	エ 交通安全施設の修繕数	箇所	107	77	38	20	30
	オ 信号機の新設数	基	2	0	0	1	0
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
交通安全施設	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア カーブミラーの数	基	3,052	3,077	3,088	3,103	3,130
	イ 赤色回転灯の数	灯	187	186	185	185	185
	ウ 信号機の数	基	199	199	199	199	199
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移						
交通安全施設を整備し、交通事故の発生を未然に防ぐ	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア カーブミラーの設置要望数	基	39	44	47	30	40
	イ 赤色回転灯の設置要望数	灯	0	0	0	0	0
	ウ 信号機の設置要望数	基	58	62	62	66	70
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか)	⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移						
交通事故の防止	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア 交通事故の発生数(暦年)	件	181	138	129	112	97
	イ 事故死者数(暦年)	人	2	4	7	2	0
	ウ 負傷者数(暦年)	人	222	157	144	132	120

(2) 総事業費の推移	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
投 入 量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	14,562	14,315	13,489	10,406
	事業費計(A)	千円	14,562	14,315	13,489	10,406
人 件 費	正規職員従事人數	人	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	360	360	360	360
	人件費計(B)	千円	1,495	1,494	1,501	1,455
	トータルコスト(A)+(B)	千円	16,057	15,809	14,990	11,861

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	特記事項
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?	交通事故を防止するために、交通安全施設整備が実施された。
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	高齢者の交通事故増加や道路整備の進展により、交通安全施設整備を必要とする箇所が増加傾向にある。また、施設の維持管理面では、特に、老朽化による施設の撤去や修繕等、安全性の確保も必要となってきている。
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特にカーブミラーの設置要望が多く寄せられている。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 交通安全施設の設置・維持管理は、交通事故の防止につながり、安全安心なまちづくりに結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 交通安全施設の設置・維持管理は市の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 危険箇所等に交通安全施設を設置し、交通事故発生を未然に防止する。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 地域等からの要望により、計画的に整備している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 交通事故防止に支障をきたす。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 計画的に設置管理している経費である。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？		

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客觀性と出来具合	<input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客觀性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客觀的と言える	(5) 改革・改善による期待成果
(2) 2次評価者としての評価結果	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	
(4) その他2次評価会議で指摘された事項		